

基本施策 3 1 学校教育の充実

- ・社会や市場、文化や価値観など多様化する現代をたくましく生きる力を育むためには、学校・家庭・地域が連携して学校教育を推進していくことが必要不可欠である。
- ・次代を担う児童生徒には、知識や技能だけでなく、思考力や判断力、また、多様な他者と協働して課題を解決できる人間性がバランスよく求められる。
- ・単位施策「共生社会を形成する豊かな心の育成」では、教職員の人権教育や外国籍児童生徒への日本語指導等が行われているが、指標に用いた「教職員の人権教育に対する満足度」が前年度から低下しているため、要因を分析し次年度の指導に生かしていただきたい。また、成果指標については、子ども達の満足度を入れるなど多角的に評価する指標も必要だと思うので、次期計画において指標改訂の検討をお願いする。
- ・単位施策「児童・生徒指導の充実」について、子ども達の SNS による悪口や中傷など学校側が気づかない「隠れてしまういじめ」を保護者と情報を共有し、子どもの変化に気づけるよう心掛けていただきたい。
- ・単位施策「ふるさとを活かした学習の充実」については、本施策によって、ふるさとへの愛着を持った子ども達が将来的に「栃木市に住む」「栃木市に帰る」という効果が期待され、定住施策にも一定の影響があると考えられるので、授業以外でも街歩きやゴミ拾いなど親子で参加できるようなイベントを通じて郷土愛が育まれていくようなアプローチができるといいなと感じる。

基本施策 3 2 生涯学習の充実

- ・生涯学習への参加者は現役引退世代の参加率が最も高いと考えられるが、現役世代や無関心層へのアプローチとして、他の事業と組み合わせて、関連付けた講座の開催や、オンライン講座を行うことで、学びの連鎖が広がっていくものとする。

基本施策 3 3 スポーツの推進

- ・スポーツをすることは心身ともに健康で文化的な生活を送るうえで欠かせないものであり、体力向上や生活習慣病の予防など健康寿命に繋がるものである。
- ・単位施策「スポーツ環境の充実」について、各施設の老朽化が進んでいるので、計画的な修繕工事を実施し、スポーツの機会を確保していただきたい。
- ・単位施策「生涯スポーツの推進」については、ニュースポーツを楽しむ機会として開催される栃木市民スポーツフェスティバルは、市民のスポーツに対するハードルを下げ、スポーツ人口を増やす良い取組だと感じる。
- ・「見るスポーツ」として、市内で行われるプロスポーツ観戦をとおしてスポーツに親しむ機会が提供されていることは、地域の活性化にも大きく寄与する取組であるので、市民スポーツ応援団「ストロベリーハーツ」をもっと PR していただきたい。

基本施策 3 4 文化の振興

- ・ 栃木市には文化会館をはじめ、美術館や文学館などの文化施設が多く、市民が文化に触れる機会が多いが、一方で全ての市民が文化芸術について触れるには、ハードルが高い側面があるので、幼い頃から親しめるような機会を設けることで、文化芸術に親しむ土壌が作れればと思う。
- ・ 単位施策「文化芸術活動の推進」については、現在放送中の NHK 大河ドラマ「べらぼう〜 蔦重栄華乃夢噺〜」を契機として、美術館において浮世絵に関する様々な企画展を連続的に開催し、幅広い世代に対しアプローチできたことは、評価できる取組だったと思う。

基本施策 3 5 教育環境の整備

- ・ 成果指標としている保護者と地域による学校支援活動の充実度が目標以上の成果を示しており、栃木市が取り組む「とちぎ未来アシストネット事業」により、学校、家庭、地域が十分に連携されていることが伺え、今後も事業が継続拡大されることで、教職員の負担軽減となり、働きやすい環境が醸成されることを望む。
- ・ 単位施策「学校施設の整備」については、小中学校の照明を LED 化することを指標としているが、中学校体育館の空調設備が整備され、今後は小学校体育館も整備が求められるとともに教室内の既存空調も更新が必要になる時期が来るので、子ども達の学習環境を守るため計画的な整備をお願いしたい。